

特 集

再発に挑む！ 外科治療の役割

治癒切除後であっても，癌再発は血行性，リンパ行性，局所，腹膜播種など多様な形式で起こりうる．大腸癌肝転移以外は，再発に対する治療方法は標準化されたものはなく，治療現場ではつねに悩ましいところである．特に技術的に切除可能と考えられる場合はことさらである．

外科切除を優先するのか，化学療法あるいは放射線療法を先行させるのか，あるいは集学的治療を考えるのか——本特集では，治癒切除後の再発に対する外科治療の役割にフォーカスをあわせ，治療現場の一助としたい．外科医魂をもって，簡単にあきらめる必要はないことが伝われば幸いである．